

番号	ページ	行番	主な意見(※要約)	回答案・計画への反映(※要約)
1	P26	11	中国圏広域地方計画において、中国地方独自のキーワードである「活躍人口」について、社会資本整備でも位置付けや整理・活用すること。	ご指摘を踏まえて、「今後、人口減少が進む中、安全・安心、環境等における地域課題の解決に向けた社会活動の担い手の確保が必要になることから、可能な範囲でそれぞれが役割を持ち、地域と連携しながら地域課題解決を進める「活躍人口」の創出を目指すために支援を行う。」に修正しました。
2	P87	45	防災施策とデジタル化施策を個別に進めるのではなく、防災道の駅や防災拠点に備えている内容を公開データ化し、住民団体の備蓄状況と照らし合わせて調整できるようにするなど、各施策で蓄積されるデータを相互に連携させ、地域や官民の連携促進につなげるべき。現在、一つ一つの施策については丁寧に記述されているが、施策同士が繋がっていくことを記述すること。	ご指摘を踏まえて、「防災道の駅等の防災拠点において官民連携による地域防災力の強化を図るなど、官が保有するデータや技術と、地域住民をはじめとした民が持つデータや技術を連携・活用し、まちの課題解決を図る。」を追記しました。
3	P94	表中1	山陰側の発展には山陰道整備が重要であり、企業立地の促進などのデータを用いて必要性を示すことが重要。また、山陰道が災害時の迂回路として機能する点も記載すること。	インフラ整備のストック効果に「一般国道9号福光～江津」を例として地域経済の活性化について記載しました。
4	-	-	中国地方の社会資本整備重点計画であるため、中国地方において、より重点的に取り組む事業や施策について明確にすること。	各小目標や概要版について、中国ブロックで重点的に取り組む具体的な内容を追記し、「何に取り組むのか」が明確になるように見直しました。
5	P29	26	「活力のある持続可能な地域社会」とあるが、施策について、都市部への偏りが見られるため、中山間地域の将来像を示す記載も必要。特に「コンパクト＋ネットワーク」は基本的に都市部の概念であるため、都市と中山間地域を結ぶ話とスケールが異なり、都市内ネットワーク、都市と都市、都市と地方など、スケール感を分けて表現すること。	ご指摘を踏まえて、小目標1-1の概要を「中小都市や中山間・島しょ部での住民の生活を維持するため、交通結節点や小さな拠点等への都市機能集積を図るとともに、公共交通の充実や交通ネットワーク整備を推進する。」に修正しました。
6	P54	3	CNP(カーボンニュートラルポート)に関しては、環境配慮のためだけでなく他の施策とも関連付けること。	ご指摘を踏まえて「カーボンニュートラルポートの取組を進め、サプライチェーン全体の脱炭素化のニーズに対応することで、荷主・船社から選ばれる港として、港湾の競争力を強化する。」を追記しました。
7	P72	47	防災では「孤立を防ぐ」ことには限界があるため、「孤立しても大丈夫」も必要な視点(例:ドローンポート整備)。維持管理費抑制にもつながる取組みが現実的である。	ご指摘を踏まえて「データやMMSを活用した地籍調査を実施するとともに、個人情報保護やセキュリティにも配慮しつつ、ドローン・ロボットによる被災状況調査や救援物資の輸送等の支援、AR/VR、3D都市モデルによるシミュレーション等データの整備や新技術の利活用等を加速する。」を追記しました。

番号 ページ 行番			主な意見(※要約)	回答案・計画への反映(※要約)
8	P24 ・ P63 ・ P71	11 ・ 1 ・ 1	福山市や三次市では防災・減災の視点も踏まえ、まちづくりが議論されており、こうした取組が当たり前になることを期待している。一方でソフト面にも課題があるため、避難時間を確保するハードの役割を計画に明記すること。	第2章の社会資本整備の方向性のうち、方針1「ハード・ソフト一体的な活用」に方針を示すほか、3章小目標2-7にソフト施策を記載。 上記のほか、小目標2-6にも追記しています。 「災害に強くしなやかなまちづくりに向けて、防災指針策定を促進するとともに、密集市街地の整備改善や防災公園の整備、地下街の安心安全対策を推進し、ハード・ソフト両面から地域特性に応じた柔軟な取り組みを推進する。 ・迅速な復旧・復興や円滑な防災・減災事業の実施のため、地籍調査を推進する。」
9	P85	45	除雪の担い手といった視点も重要である。	ご指摘を踏まえて 「冬期において地域の安全・安心を支える除雪作業の重要性を踏まえ、道路除雪の担い手を確保するための取組を推進する。」を追記しました。
10	P91	22	計画のフォローアップは、モニタリングや意見交換など具体的な取組を書き込めるようにすること。また、NETISのような新技術を活用・評価する制度は重要であり、その内容を計画に記載すること。	ご指摘を踏まえて 「あわせて、事業・施策の進捗状況は定期的にモニタリングを行い、指標では把握できない内容については関係期間との意見交換を通じて把握する。」を追記しました。
11	P33	49	域内の流動を活性化させる上では、空港の機能強化に関する施策の観点が必要である。	ご指摘を踏まえて 「空港機能の一層の活用・強化を図り、物流の高速化・効率化を実現を図る。」を追記しました。
12	P71	28	大地震後の大雨等、複合災害への対応といった視点も必要である。	ご指摘を踏まえて 「地震、豪雨、津波、土砂災害等が連続的または同時に発生する複合災害に対して、発災後の残存リスクの管理徹底を図るとともに、防災情報の収集・集約・提供の高度化や迅速化を進め、被害の発生・拡大を抑制する。 ・ドローンやロボットを活用して現場対応の自動化・遠隔操作化を推進し、被害状況把握や応急復旧の迅速化・高度化を実現する。」に修正しました。

番号	ページ	行番	主な意見(※要約)	回答案・計画への反映(※要約)
13	P83 ・ P26	5 ・ 31	インフラの予防保全にDXを組み合わせることが重要であり、そのために、技術開発の支援や開発された技術を評価する仕組みを見越して計画に盛り込むこと。	<p>・新技術の活用は、小目標4-3にロボット、AI等の新技術の開発や導入について記載しています。</p> <p>・開発の支援や評価の仕組み等の構築については、第2章【方針5】に以下を追記しました。 「新技術評価会議」により新技術に係る事前・事後評価等を行い、新技術の活用促進を図るとともに、普及拡大のため、建設現場のニーズと企業等のニーズをマッチングするマッチングサイト「J-Goodtech」を活用した技術公募の取組を推進していく。」</p>
14	P33	43	中国圏は隣接圏域よりインフラ整備が遅れており、中国5県を束ねる効果も十分発揮できていない点が問題で、その課題をもっと明確に書くこと。	<p>ご指摘を踏まえて、 「米子自動車道や山陰道などの広域的な道路ネットワークの整備・強化や既存の道路ネットワークの有効活用、交通結節点を強化し、広島・岡山都市圏が中国ブロック全体を牽引することで、人とモノの流れの促進や地域活性化につなげる。」と修正しました。</p>
15	P63	1	広島は土砂災害警戒区域が全国最多で、砂防ダムだけで土砂を完全に防ぐのは難しいため、平地や山裾に小さな広場のような空間を設けて土砂を減勢する対策も有効ではないか。	<p>ご指摘を踏まえて、 「災害に強くしなやかなまちづくりに向けて、防災指針策定を促進するとともに、密集市街地の整備改善や防災公園の整備、地下街の安心安全対策を推進し、ハード・ソフト両面から地域特性に応じた柔軟な取り組みを推進する。 ・迅速な復旧・復興や円滑な防災・減災事業の実施のため、地籍調査を推進する。」に修正しました。</p>